

2020年度学力試験問題の「出題意図」・「評価ポイント」について

小論文 【夜間主コース 推薦入試・社会人入試】		
出題意図		評価ポイント
<p>【出題意図】</p> <p>この問題は、大学の学費の私的負担軽減という、一見誰にとっても望ましい政策について、データを用いることでどのように批判的に捉えなおすことができるかを問うものである。問題文を通して、日本に大学進学志向に関する「分断」が存在することを理解したうえで、通説を相対化しつつエビデンスに基づいた議論を展開することができるか。こうした社会科学的な資質を問うことを、この問題では意図している。</p>	問1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題文でいう「温度差」が何を意味し、データとしてどのように現れているか適切に解釈されていること。 ・ グラフの内容を的確に理解し、データの数値を用いて具体的に説明をしていること。 ・ グラフの読み取りについて、「そう思う」の数値のみに言及している場合は部分点を与える。 ・ 「そう思わない」＋「あまりそう思わない」の数値に基づいて説明がされている場合は、「そう思う」＋「ややそう思う」の場合と同様に評価する。
	問2	<ul style="list-style-type: none"> ・ ①筆者が学歴分断社会の継続を前提と考える理由、②大学学費の負担軽減政策の問題点、③考えられる対応策の3点すべてについて言及していること。 ・ 「学費負担軽減政策の問題点」について、今後も一定数(4割程度)の非大卒層が存在し続けることを踏まえたうえで議論を展開していること。 ・ 「対応策」について、できる限り具体的に説明する試みがなされていること。 ・ 主張の理由・根拠が明確に述べられていること。 ・ 筆者の議論を踏まえたうえで自らの主張を展開していること。